



日本赤十字社

## 縦隔・胸壁腫瘍の切除術を受けられる(

)さま

主治医は、\_\_\_\_\_です  
 病棟師長は、\_\_\_\_\_です  
 担当看護師は、\_\_\_\_\_です

月・日・曜日	入院日～手術前日	手術日	手術後1日目	手術後2日目	手術後3日目～退院日まで
		／ ( )	／ ( )	／ ( )	／ ( )～／ ( )
食事・栄養	普通食(合併症のある方は、治療食となる場合もあります) 絶飲食の時間を書いた札をお渡します。	絶飲食です。 	朝から粥食です。	朝から普通食です。 	→
安静度	病院内を自由に活動してください。	手術後は、ベッド上で安静です。 ベッド上で体の向きを変えることはできます。 血栓予防のため、足の運動をしましょう。	状況によって歩く練習をしましょう。	病院内を自由に活動してください。	
清潔	シャワー浴できます。		体を拭きます。 	胸のチューブが抜ければシャワーができます。	
処置	手術前日に脇と胸の毛を剃ります。 その後、シャワーをしてください。  マニキュア・ペディキュアは落としておいて下さい。 ひげ剃りをしておきましょう。 爪は短くそろおえておきましょう。  用意していただくものは、T字帯1枚です。	化粧はしないで下さい。  時計・指輪・義歯・ヘアピン・コンタクトを外し、トイレを済ませます。 看護師の持ってきた手術衣に着替えてください。	髪の長い方は、あらかじめ両側にゴムで束ねておいて下さい。  手術しない方の側に、ネームバンドをします。  弾性ハイソックスを着用します。  術後は、血栓予防のため下肢をマッサージする機械を装着します。 家族の方と一緒に、手術室に行きます。(手術中、家族の方は、ラウンジか病室でお待ちください)		
治療・点滴・服薬	必要な時は、手術前日の眠る前に、安定剤を内服します。  	午後から手術の方は、午前中に点滴があります。   手術後 点滴が翌朝まで続きます。  抗生素質の点滴があります。  手術中に尿管が入ります。 必要な時は、背中に痛み止めのチューブが入ります。  酸素吸入があります。 胸に管が入っています。 血圧や体温を測ります。	朝から痛み止めと胃薬を内服します。   8:50より巡回があります。 (主治医が訪室するので) ベッド上でお待ちください。	状況に応じて、尿管を抜きます。  ガーゼ交換があります。  状況に応じて、胸の管が抜けます。  →	拔糸は退院後に外来で行います  
検査	手術前の検査(採血、レントゲン、心電図など)があります。		採血とレントゲンがあります。	レントゲンがあります。	必要に応じて、採血やレントゲンなどの検査があります
説明・指導	入院までの経過や病状をお伺いします。   麻酔科に受診し、麻酔の説明があります。 (70才以上の方は、ご家族の同伴が必要となります。 9時までにご来院ください)  手術室の看護師が訪問します。	手術が終わったらすぐ、ご家族の方に手術の説明があります。  痛みがある・眠れない時は遠慮せず看護師に申し出てください。  		医師の許可があれば退院が決まります。	普段どおりの生活をしてください。  